

クォーツワッチ (ソーラーチャージを含む) について

●精度

月差: ±20秒 ※使用環境 (温度・湿度他) により、精度の範囲を超えることがあります。

●電池寿命

※ソーラーチャージワッチを除く。
約3年 (新しい電池に交換後) ※P21の電池について項目をご参照ください。

●衝撃

ゴルフや野球などのスポーツ、床面に落とすなど、時計に強い衝撃が加わると、止まり・遅れをはじめとする故障・損傷の原因になりますのでご注意ください。

●磁気

携帯電話やパソコンなど、強い磁気が発生する可能性のあるもの近くに時計を置かないでください。磁気を帯びることによって時計の精度に狂いが生じます。

●温度・湿度

直射日光が当たる場所や高温多湿になる場所、寒冷地、その他極端な気象条件下での長時間のご使用、故障は故障の原因になりますのでご注意ください。

ソーラーチャージワッチについて

●高品質の特徴

この時計は、文字板にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるアナログパワーワッチです。

●ご使用前に...

十分に光を当てて充電してからご使用ください。この時計には、電気エネルギーを蓄えるために2次電池が使われています。この2次電池は、水銀などの有害物質は一切使われていないクリーンエネルギー電池です。フル充電より約6ヶ月間駆動し続けます。この時計には、過充電防止機能が付いており、充電しすぎる心配はありません。快適にご使用いただくためには、常に余裕を持って充電することを心掛けてください。

▲注意

充電する際は、時計が高湿 (約60℃以上) にならないようご注意ください。
(例) 炎天下の車内のダッシュボード、直射日光の下、長時間の直射日光下など。

☎アドバイス

ソーラーチャージワッチを充電するには、充分明るい環境が必要です。光線強度を自己として、下記の環境をご参照ください。

ソーラーチャージワッチの保管について

●長推の下など、文字板に直射日光が当たらない環境下では、効率よく充電がされませんが、時計を使用しない時は、文字板に光が当たる場所に保管するなど、充電を心掛けてください。

●引き出しの中などの暗い場所でも長時間充電されない状態が続くと、電気を完全に放電してしまい、充電できなくなる場合があります。その場合は、ご購入店または弊社サービスセンターへご相談ください。

▲注意

充電する際は、時計が高湿 (約60℃以上) にならないようご注意ください。
(例) 炎天下の車内のダッシュボード、直射日光の下、長時間の直射日光下など。

☎アドバイス

ソーラーチャージワッチを充電するには、充分明るい環境が必要です。光線強度を自己として、下記の環境をご参照ください。

ソーラーチャージワッチの充電時間の目安

下記の目安時間まで充電しなくても一時的に秒針が1秒進針をする場合がありますが、その状態ですぐに2秒進針に戻ることがあります。充電の量は下記の各自時間より長く充電することをオススメします。

<F42x、F43xシリーズの場合>

照度 (Lx:ルクス)	環境	1日動かす分の充電時間	2秒進針から1秒進針までの充電時間	フル充電時間
700	明るい室内	約47分	約33時間	-
3,000	30W蛍光灯下20cm	約15分	約8時間	約47時間
10,000	曇天	約4分	約2時間	約13時間
100,000	直射日光/晴天	約1分	約42分	約5時間

<F75x、F76xシリーズの場合>

照度 (Lx:ルクス)	環境	1日動かす分の充電時間	2秒進針から1秒進針までの充電時間	フル充電時間
700	明るい室内	約90分	約35時間	-
3,000	30W蛍光灯下20cm	約20分	約8時間	約65時間
10,000	曇天	約6分	約2.5時間	約18時間
100,000	直射日光/晴天	約2分	約1時間	約5時間

ソーラーチャージワッチの調整方法

時刻の合わせ方
1. 秒針が0位置 (12時位置) にきた時、リュウズを2段目、「時刻調整ポジション」まで引いてください。(秒針停止)
2. リュウズを回し、午前と午後に注意して時刻を合わせてください。
3. 時鐘と同時にリュウズを押し込み、「通常使用ポジション」に戻して完了です。(秒針スタート)

☎アドバイス
正確に時刻を合わせるには、正しい時刻より10分ほど進めてから、分針を戻すようにして時刻を合わせ、時鐘と共にリュウズを押し込んでください。

日付の合わせ方
1. リュウズを1段目、「日付調整ポジション」まで引いてください。
2. リュウズを時計回りに回し、日付を合わせてください。
3. リュウズを押し込み、「通常使用ポジション」に戻して完了です。

☎アドバイス
日付の調整は、進む方向のみができます。戻す方向はできません。

▲注意
日付調整をする場合、PM300~AM400の時間帯はお避けください。万一、操作を行いますと、日付が正しく切り替わらなかつたり、ムーブメントに不具合が生じることがありますのでご注意ください。もし、この時間帯に修正を行う場合は、上記時間帯に針を動かしてから日付を合わせてください。水中や濡れた手でリュウズ操作は、ムーブメントの故障の原因になることがありますのでご注意ください。「通常使用ポジション」への押し込み方が充分でないと、全く防水が効いていない状態になります。必ず、元の位置まで確実に押し込んでください。

各クロノグラフ針の0位置 (12時位置) 調整方法

クロノグラフをリセットする時や磁気による影響などで各クロノグラフ針が0位置 (12時位置) に戻らない時は、この操作を行ってください。

1. リュウズを2段目、「時刻調整ポジション」に合わせます。各クロノグラフ針が停止します。

[クロノグラフ分針修正]
1. Aボタンを押し上げると、クロノグラフ分針が一回転し、0位置 (12時位置) 修正モードになります。
2. Bボタンを押し上げると、クロノグラフ分針が0位置 (12時位置) に合わせます。Bボタンを押し続けると、針が速く進みます。

[クロノグラフ1/5秒針修正]
1. Aボタンを2秒以上押し続けると、クロノグラフ1/5秒針が一回転し、0位置 (12時位置) 修正モードになります。
2. Bボタンを押し上げると、クロノグラフ1/5秒針が0位置 (12時位置) に合わせます。Bボタンを押し続けると、針が速く進みます。

※さらにAボタンを2秒以上押し続けると、上記2に戻り、再度修正動作が繰り返されます。

3. リュウズを押し込み、「通常使用ポジション」に戻して完了です。

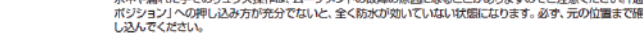
▲注意
クロノグラフ針の位置調整中に、リュウズを他のポジションにすると、押し込んだ時の各クロノグラフ針の位置が0位置 (12時位置) として設定されます。

クロノグラフの使い方

最大60分まで時間を計測して表示することができます。

[クロノグラフで積算時間を計測する]
1. Aボタンを押すことでスタート/ストップを繰り返すことができます。(積算計測)
2. 計測ストップの状態でもBボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、各クロノグラフ針が0位置 (12時位置) に戻ります。

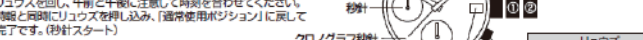
<通常計測 (積算時間)>



※Aボタンを繰り返して押すことで積算計測をすることができます。

[クロノグラフでスプリットタイムを計測する]
1. Aボタンを押してスタートさせます。
2. Bボタンを押すと、各クロノグラフ針が停止し、スプリットタイムが表示されます。時計内部では時間計測が継続されています。
3. Bボタンを押すと、スプリットタイムが解除され、時間計測動作に戻ります。
4. Bボタンを押すことでスプリットタイムの表示/解除を繰り返すことができます。
5. Bボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、各クロノグラフ針が0位置 (12時位置) に戻ります。

<スプリットタイム計測 (経過時間)>



※スプリットタイムとは、スタートからある区間までの途中経過時間を指します。
(例) マラソンで5km地点、10km地点、15km地点などのそれぞれの所要時間を計測できます。

クォーツ・スモールセコンド (V078)

時刻の合わせ方

1. 秒針が0位置 (12時位置) にきた時、リュウズを1段目、「時刻調整ポジション」まで引いてください。(秒針停止)
2. リュウズを回し、午前と午後に注意して時刻を合わせてください。
3. 時鐘と同時にリュウズを押し込み、「通常使用ポジション」に戻して完了です。(秒針スタート)

☎アドバイス
正確に時刻を合わせるには、正しい時刻より10分ほど進めてから、分針を戻すようにして時刻を合わせ、時鐘と共にリュウズを押し込んでください。

日付の合わせ方
1. リュウズを1段目、「日付調整ポジション」まで引いてください。
2. リュウズを時計回りに回し、日付を合わせてください。
3. リュウズを押し込み、「通常使用ポジション」に戻して完了です。

☎アドバイス
日付の調整は、進む方向のみができます。戻す方向はできません。

▲注意
日付調整をする場合、PM300~AM400の時間帯はお避けください。万一、操作を行いますと、日付が正しく切り替わらなかつたり、ムーブメントに不具合が生じることがありますのでご注意ください。もし、この時間帯に修正を行う場合は、上記時間帯に針を動かしてから日付を合わせてください。水中や濡れた手でリュウズ操作は、ムーブメントの故障の原因になることがありますのでご注意ください。「通常使用ポジション」への押し込み方が充分でないと、全く防水が効いていない状態になります。必ず、元の位置まで確実に押し込んでください。

クォーツ・テイト (VX32)

時刻の合わせ方

1. 秒針が0位置 (12時位置) にきた時、リュウズを2段目、「時刻調整ポジション」まで引いてください。(秒針停止)
2. リュウズを回し、午前と午後に注意して時刻を合わせてください。
3. 時鐘と同時にリュウズを押し込み、「通常使用ポジション」に戻して完了です。(秒針スタート)

☎アドバイス
正確に時刻を合わせるには、正しい時刻より10分ほど進めてから、分針を戻すようにして時刻を合わせ、時鐘と共にリュウズを押し込んでください。

日付の合わせ方
1. リュウズを1段目、「日付調整ポジション」まで引いてください。
2. リュウズを時計回りに回し、日付を合わせてください。
3. リュウズを押し込み、「通常使用ポジション」に戻して完了です。

☎アドバイス
日付の調整は、進む方向のみができます。戻す方向はできません。

▲注意
日付調整をする場合、PM300~AM400の時間帯はお避けください。万一、操作を行いますと、日付が正しく切り替わらなかつたり、ムーブメントに不具合が生じることがありますのでご注意ください。もし、この時間帯に修正を行う場合は、上記時間帯に針を動かしてから日付を合わせてください。水中や濡れた手でリュウズ操作は、ムーブメントの故障の原因になることがありますのでご注意ください。「通常使用ポジション」への押し込み方が充分でないと、全く防水が効いていない状態になります。必ず、元の位置まで確実に押し込んでください。

未永く安全にご使用いただくために

<電池の誤飲> ※ソーラーチャージワッチを除く。
誤飲計測用の電池などは誤って飲み込まれたりすると、大変危険です。そのため、小さなお子様などの手の届かないところに保管してください。万一誤って飲み込まれた場合は、すみやかに医師による適切な処置を受けてください。

<アレルギーなど>
金属/バンド/海/シリコン/樹脂/皮革/ゴム、アレルギー体質の方はかぶれたりすることがあります。また、バンドの汚れや汗のりをそのまま放置すると、かぶれなどの原因になることがあります。万一かぶれた場合は、すみやかに皮膚科を受診してください。

●錆びにくいステンレススティールも、汚れが付着したままでは錆が発生することがあります。指輪から洗い布で拭き取り、こまめに手入れをします。

●全裸/UVは、時々部分洗いすることをオススメします。ベルトに付着した汚れは、石鹸水などを付けたブラシで軽く部分洗いをし、乾いた布で完全に拭き取ってください。

●時計のバンドは透気性を高めるため、脱いで寝かすときや、汗や汚れが乾いた状態に保つておくことが大切です。

●故障の原因になりますので、水泳、ほしやくなど、また、極端な乾燥や、有機溶剤などに近づけないでください。

●ベルトは自然素材を使用しています。磨耗や変形、変色などの経年劣化が生じるため、定期的な交換をオススメします。水に濡れた状態かかいた場合は、すぐに乾かすか、ぬるま湯で洗って乾かしてください。濡れたままの状態が続くと、かぶれや染料が顔や衣類を汚す原因になります。ご使用後は、風通しの良い涼しい場所に保管してください。

<電池について> ※ソーラーチャージワッチを除く。
お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、工場出荷時に時計の機能、性能を確認するためのモーター電池です。お買い上げ後、表記されている期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。

<その他>
●分解
時計本体、及びバンドをご自分で分解しないでください。ご自分で分解されたことによる故障や保証の喪失などについては責任は負いかねます。

●磁気
携帯電話やパソコンなど、強い磁気が発生する可能性のあるもの近くに時計を置かないでください。磁気を帯びることによって時計の精度に狂いが生じます。

●衝撃
ゴルフや野球などのスポーツ、床面に落とすなど、時計に強い衝撃が加わると、止まり・遅れをはじめとする故障・損傷の原因になりますのでご注意ください。

●湿度・温度
直射日光が当たる場所や高温多湿になる場所、寒冷地、その他極端な気象条件下での長時間のご使用、故障は故障の原因になりますのでご注意ください。

●化学薬品・有機溶剤
水銀・化学薬品 (カドミウム、シアン、各種酸、またそれらを含むクリーナー、換気機、塗料、薬液、化粧品等) の付着、有機ガスの中での使用により、時計本体やバンドなどに変色や腐食が生じることがあります。

●充電する際は、高湿下 (約 60℃以上) で充電・保管しないようご注意ください。高湿下に長時間放置すると故障の原因になります。長時間ご使用されない時は、柔らかい布で表裏の汚れを軽く取り、高温多湿の場所を避けて保管してください。